

主体的な学び 必要感からの学び

「個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、『主体的・対話的で深い学び』を実現することは、児童生徒の学びのみならず、教師の学びにもまた求められている命題である」。これは、(独立行政法人教職員支援機構 (Nits) 理事長荒瀬克己先生が、研修マネジメント力協働開発プログラム (Nits 研修) で語られた言葉です。

先生方が研修に参加する必要感は、こうありたいという願いであったり、問いであったりするのではないのでしょうか。たとえば、新しい教育技術を学びたい、特定の教科の知識を深めたい、学級経営をよりよくしたいなどが考えられます。そのような願いや問いに対して一人で考えることもできますが、それでは行き詰まることもあります。これに対して、教師間のディスカッションや共同研究、メンターシップなどがあると、新たな気づきが得られることがあります。

教育研修センターでは、自身の必要感にじっくり向き合える時間と、他者との話し合いや共同作業などの場を大切にしたいと考えています。先生方の内にある願いや問いを、同じような必要感をもった先生方に伝えたり、思いや考えを聞いたりしながら、自身のあり方を考えるきっかけとなればと思っています。先生方自身が自分の学びを主導し、参加した先生方との対話を通じて、深い理解が得られればと思います。

6月の研修でも、先生方からたくさんの学びの声が聞こえてきました。ご紹介します。

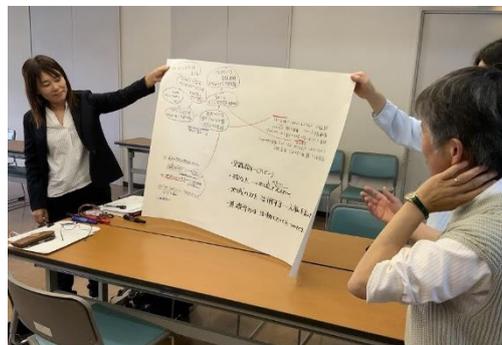
6月6日:〇〇主任のお仕事ゼミ ワークショップ型ミドルリーダー研修

「ワークショップ型ミドルリーダー研修」は様々なワークショップを通して、ミドルリーダーの役割や具体的な動き方等について体験的に学ぶ4回シリーズの研修です。

第1回は「ミドルリーダーに期待されること」というテーマのもと、「ミドル・アップダウン・マネジメント」の考え方を中心に、「先生方をつなぎ、実践の中核として学校運営に当たるミドルリーダーのあり方」について学びました。

冒頭の自己紹介で「『〇〇主任』に任じられたけれど、動き方がわからない。」「ミドルリーダーといわれる年齢になったけれど、どういう役割を果たせばいいのか悩んでいる」といった参加動機 (課題意識) を語られた参加者の先生方。「課題状況を設定したワークショップ」では、「ミドルリーダーとしてどう先生方に働きかけ、課題解決を図るか」について熱心に協議され、豊かにアイデアを交流されました。

課題意識を持ち寄り、親密な対話を通してそれぞれに新たな気づきや見通しを見出されている先生方の姿が心に残る研修となりました。



〈先生方の感想から〉

- 責任をもって仕事をする事、しっかり話をし、学年間で仲良くし、困っていること、悩みは一緒に解決していかれるような学年主任になりたいと今日、改めて感じました。
- 近々学年職員に対して学年経営について、生徒に対して生徒指導について話をしなければならない状況にあり、思案して悩んでいましたが、今日の研修の内容を受けて腹をくくることができました。常に上機嫌であることを心がけたいです。
- 「うまくいかなかったらやりなおす」という言葉で前向きな気持ちになれたように思います。何かを変えようとするときにはやる気と“ずく”と勇気が必要だと思っていますが、まずはチャレンジしてみてもいいかなと振り返って他の職員と一緒に考えていこうと思いました。

6月21日:道徳授業づくり研修～対話を活かした道徳の授業づくり 立命館大学 荒木寿友先生

松本市内全小中学校の道徳担当の先生方が集まり、道徳の授業づくりについて荒木先生の講演をお聞きました。タイトルの通り「対話を活かした」講演となり、荒木先生のお話の中で出てくる問いかけに対して、隣の人と話し合いながら、道徳の授業について考えていくものでした。そこから得られる新たな視点は、受講した先生方のこれまでの授業観をゆさぶるものとなったようです。



〈先生方の感想から〉

- “読む道徳”“聞く道徳”から離れ、「自分ならどうする?」「モヤっとする」道徳をしていきたいと思いました。
- わからなくてもよい、ずっと考え続け、答えが出ないことも一緒に考える時間にする。自己、他者、もの(教材)との対話をし、子どもがたくさん話す時間にする。子どもたちと一緒に悩んで道徳を楽しみたいと思いました。
- 「8つのあいづち」や「オープンクエスチョン」は効果的で、より子どもの意見交換を活発にできると思ったので、積極的に活用していきたい。

荒木先生のお話の中で、「直感型の思考」から「熟慮型の思考」へとありました。熟慮型の思考を繰り返していくと、直感型の思考に幅や深さが増し、一瞬で深く考えられるようになるそうです。そのためにも、対話することが大切となり、対話するためには心理的安全性が担保されることと、やりとりのスキルが必要だそうです。興味のある先生はぜひ参加した先生に聞いてみてください。



令和6年度 松本市全教職員研修 『結』まつもと学びの日のお知らせ

○期日・時間：7月25日(木) 13:00～16:40

○会場：まつもと市民芸術館 主ホール

○内容

12:20 開場・受付開始

13:00 開会

(1) あいさつ(松本市教育会長・信濃教育会長)

(2) 教育長講話(伊佐治裕子松本市教育長)

(3) 松本市教育会研究委員会報告

(4) 講演(大阪市立大空小学校初代校長 木村泰子氏)

「子どもの事実から みんなで 学校づくりを問い直しませんか」

16:35 閉会

